

# 小久保 照枝 議員

## 公明党



## 問 地域防災の向上に向けて

### 答 平時からの意識向上に努める

- 問** デジタル防災サービスの今後の方向性は。
- 答** **総務部長** 災害時の運用に限定せず、平時からの活用方法も視野に入れ他自治体の先進事例も参考に研究する。
- 問** グループホームや障がい者施設に対する防災への取組は。
- 答** **健康福祉部長** 避難確保計画の作成および訓練実施が義務づけられているため、未作成の事業所には速やかに依頼。
- 問** 障がい者参加型の地域防災訓練をどのように進めていくか。
- 答** 本人同意のもと避難行動要支援者名簿に登録、各地区自主防災組織等に情報提供している。

- 問** 市制20周年事業として、防災フェスタの進捗は。
- 答** **総務部長** 「あいち防災フェスタ」への参画を記念事業と位置付け、愛知県および関係機関等と協議を進めている。
- 問** 市長総括を。
- 答** **市長** 平時からの備えと住民同士の支え合いの意識向上に努める。



## 問 地域猫活動の実績は

### 答 苦情や殺処分の減少に寄与

- 問** 令和6年度よりどうぶつ基金を活用し、不妊去勢手術を行っているがこれまでの実績は。
- 答** **市民生活部長** 令和8年1月末で340件。
- 問** 苦情相談件数は。
- 答** **環境課長** 令和6年以前は200件以上から令和7年は30件ほどに減少。
- 問** ※ロードキル数は。
- 答** 令和5年度25件から令和7年度は令和8年2月末時点で14件に減少。
- 問** 市内で協力病院を確保するため近隣自治体との連携強化は。
- 答** **市民生活部長** 近隣市町村とも常に情報共有を図り連携し対策していく。
- 問** 活動の目的や効果、餌やりマナーなど市民への広報強化は。
- 答** 定期的に市広報誌や市ホームページを活用し啓発活動を進めていく。
- 問** 地域猫ボランティアの活動を、学校教育の中で「命の授業」として検討しては。
- 答** **教育部長** 校長会等を通して各小学校へ情報提供を考えていく。

※ロードキル：道路上での野生動物が車等と衝突し、死傷する事故。



▲猫の繁殖力（環境省HPより）